

特集 | 新入生歓迎号



自己紹介と 図書館の普遍性・不偏性

図書館長 山村 延郎 (商学部教授)

拓殖大学の新入生、新入教職員のみなさんはじめまして。大学には慣れてきましたか？ 在学生、教職員、その他の利用者のみなさんも、こんにちは。今年から図書館長となりました商学部の山村です。これからよろしくお願いします。

さてこのところ、わたしの研究対象である金融業界では、「FinTech」という言葉が流行しています。革新的な情報通信技術を用いて新しい金融サービスに参入する業者が登場し、既存の銀行が変革を迫られているからです。

図書館もまた、情報通信技術の革新を受けて、変革を迫られています。「EdTech」です。たとえば、あなたがスマートフォンを持っていれば、どこにいても、検索サイト、無料百科事典、読み放題サービスが使えます。必要な情報はそこで何でも手に入りそうです。それではいったい大学図書館は、何のために必要なのか、ということになります。

そこで考えるに、ネットの中には、妄想的な事実、非理性的な見解もあふれています。それに対して大学は、学術の中心です。大学図書館で利用できる資料にも、真理と理性に基づいた権威と専門性が備わっているのです。これが大学図書館の第一の柱です。

専門書、実用書、教養書、定評あるデータベース、冊子又は電子的な学術誌、大学昇格記念図書館の竣工から100年弱かけて収集してきたコレクションの数々、これらを駆使すれば、あなたの研究、レポート、調査の格調は高まります。理論と事実で武装した意見のほうが普遍性も高く、より多くより遠くの人に受け入れられ、通用するに違いありません。

ただし、見かけの格調の高さや普遍性だけを絶対視す

ると、思想善導の道具に墮落しかねません。かつて軍国主義は、図書館の良化と称し、検閲、封印、焚書を行いました。国際連盟事務局次長の新渡戸稲造は、この軍国主義をとくに嫌っておりました。新渡戸先生を第二代学監に仰ぐ拓殖大学の図書館は、不偏性、多様性あるいは網羅性という第二の柱を旗印に、個人個人の多様な関心に応答し、学問の自由を守る砦とならねばなりません。

学問の自由を守るため、大学図書館は、あなた個人が自由に追い求める深い専門の研究、広い知識の修得、人格の陶冶のために、必要な資料を自館に収集し又は他館から取り寄せて提供しています。さらにこれからは、論文、教材、作品の公開あるいは展示の場を確保し、研究者、教育者、学生その他の利用者が自由に集って切磋琢磨する空間を提供することが求められます。近年、図書館空間は、コモンズ(入会地)と呼ばれています。大学図書館は、みなさんのコモンズを保全し、学問の自由をかなえる支援部隊となるのです。

あなたがどんなに優秀でも、自分一人で見つけた情報源だけでは、視野が狭くなってしまいます。たまには図書館にアクセスして複数の新聞をめくり、来館してラーニングゾーンで他人の意見に耳を傾け、開架の棚を右・左、上から下まで眺めて散策し、目についた資料を開いてみませんか。そうすれば、網羅的な見識が自然と身につき、ひょっとすると、知的な化学反応や相互作用が起き、世界を変える大発見につながるかもしれません。

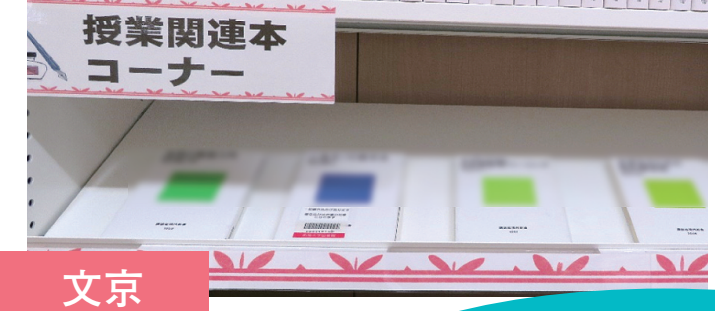
南国・北地へ海を越え、地の塩となる人々が、世界の闇を照らすべく、まばゆい文化の炬を探し、色とりどりに交わって、自由に学び鋼鉄の城塞、拓殖大学図書館へ、ようこそ！

図書館スタッフ おすすめランキングNo.1

講義関連展示

課題の内容や先生の意向を
伺いながら、みなさんのヒントに
なるような資料を選んで
展示しています。
また、資料を探すポイントも
紹介しています！

徹底
攻略！



◀「授業関連本
コーナー」
言語の本など、
授業に関連した
本を集めました。

テーマ展示

図書館スタッフ おすすめランキングNo.2

本は読みたいけど、何を読んだらいいのかわからない…
そんな時には、テーマ展示はいかがですか？
先生からみなさんへおすすめの本や、
「読んでみたい」と興味を持ってもらえるような
テーマを決めて展示しています。
他にも、学部関連、ガイダンス関連の展示など、
まだ知らない本に出会えるチャンスです。

図書館ではレポートや就活など、▶
様々なテーマでガイダンスを
行っています！
こちらではガイダンステーマに
合わせた資料を展示しています。



八王子

◀「平成を振り返る」
平成時代に起きた出来事に関する
資料を集めました。



八王子

図書館スタッフ おすすめランキングNo.3

指定図書

参考書として先生がみなさんの勉強に
役立ててもらいたい本を、図書館の中で
展示しています。

※指定図書は多くの学生が閲覧できるようにするため、
借りることはできません。館内でご利用ください。

★指定図書の場所★
文 京：B1カウンター正面
八王子：1F階段横



文京

▲「ゼミナール参考図書」
来年の所属ゼミに迷うそのあなたへ

石毛昭範先生「経営学読書案内」▶
服部哲也先生「経済学副読本」



文京



◀高野元春先生
「宇宙のしくみ」



八王子

図書館では課題やレポートのための資料探しのお手伝いも行っています。
「テーマに関連する資料がうまく見つけれない」
「レポートを書く時は何から始めたらいいの？」などなど
そんな時はお気軽に図書館スタッフまでお声がけください！

入館ゲート・自動貸出機が、ICカードに対応します！

学生証のICカード化に対応するため、図書館の入館ゲート・自動貸出機は、4月から利用方法が変わります。

資料到着メール スタート！

予約・取寄した資料の到着を、メールで通知できるようになりました。

メール通知をご希望の方は、マイライブラリの予約画面で「資料到着時のメール通知」のチェックを「不要」から「必要」に変更してください。

学生アドバイザーから新入生へのメッセージ

大学図書館を活用しよう！

商学部3年 出口 怜音

私たちが利用できる身近なサービスに図書館があります。みなさんは、今までどのくらい図書館を利用しましたか？図書館といえば、本を読む、自習をするといったイメージがあると思います。拓殖大学図書館では、このことに加えさまざまな活用法があるため、大学生活を充実させるために私のおすすめの使い方を三つ紹介します。

一つ目は、アクティブラーニングエリアでグループ学習をすることです。このエリアは、開放的なスペースの中で席が取り囲まれているため、自然と脳が活発化され、意見やアイデアが出やすいです。そのため、議論や研究を行うには最適です。

二つ目は、視聴覚資料コーナーでDVDを見ることです。暇つぶしに映画を見るだけでも、幅広い知識や教養が身につきます。私は、自分の名前と同じ題名の映画を見つけたのですが、タイトルを眺めているだけでも興味を惹かれるものが多いと思います。

三つ目は、気分に合わせて学習環境を選べることです。さまざまな席があるため、落ち着いて取り組みたいとき、集中して取り組みたいときなどに使い分けることで、作業効率が高まります。人気の席もあるため、自分のお気に入りの席を見つけてみるのがおすすめです。

この他にも拓殖大学図書館には、最新のデータベースから歴史的な図書まで多くの資料があり、魅力的です。また、館内のデザインや書架に仕掛けなどもあるため、楽しみながら自分なりに図書館を使いこなしてみてください。

図書館に行ってみよう

政経学部3年 柏野 太志

大学の図書館には、小中学校や高校の図書館とは異なり、経済、法律、経営など、多くの専門的な本が置いてあります。中には内容が少し難しいものもありますが、これらは普段の授業やレポート作成の助けとなってくれるでしょう。また、辞書や新聞、論文、企業情報などが入ったデータベースが充実しているので、論文を書く時、就職活動で情報収集をする

時、様々な場面で役立ちます。学習に必要な環境や設備も整っており、大学生活には欠かせません。わからないことがあれば、遠慮なく図書館を巡回している学生アドバイザーやスタッフに聞いてください。優しい先輩、スタッフが何でも教えてくれると思います。

拓殖大学の図書館には、インターネットでは得られない情報がたくさん詰まっています。知恵は万代の宝、図書館で得た知識はあなたの一生の宝物になります。ぜひ一度、足を運んでみませんか？新入生の皆さんが、図書館を活用して素晴らしい学生生活を過ごせることを願っています。